

2022年5月25日

2022年静岡県内企業・夏のボーナス予想

1人当たり支給額は前年比+0.8%の380,300円

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、静岡県内企業の今夏のボーナス支給額を試算しましたので、その概要をご案内します。

1. 民間1人当たり支給額 380,300円（前年同期比+0.8%の見込み）

- ・ボーナス支給額は各社独自の算定方法で決定されるが、県下を総体的にみると、コロナ禍の影響から持ち直しつつあるものの、いまだ生産活動が制約を受けており、前年比で微増にとどまる見込み。
- ・従業員30人以上の企業は、原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱といった収益環境の悪化が押し下げ要因となるものの、業績は改善傾向にあることから、前年比+0.9%となる見通し。
- ・従業員29人以下の企業は、度重なる経済活動の落ち込みから本格的な業績回復には至っていないものの、前年（推計△2.8%）の反動もあり、同+0.5%とわずかながらも増額となる見通し。

表1 静岡県の夏のボーナス民間1人当たり支給額推移（民間企業推計）

	2020年	2021年	2022年
全企業（円）	376,721	377,233	380,300
対前年比伸び率（%）	+ 0.7	+ 0.1	+ 0.8
うち従業員30人以上（円）	※ 435,866	440,443	444,400
対前年比伸び率（%）	△ 1.1	+ 1.1	+ 0.9
うち従業員29人以下（円）	272,710	265,178	266,600
対前年比伸び率（%）	+ 4.9	△ 2.8	+ 0.5

※ 2020年の従業員30人以上は確報値。その他は当所推計値。

2. +0.8%の増額が見込まれる背景

①企業業績の改善

法人企業統計（四半期）によると、企業1社あたりの経常利益（全国）は、2020年第3四半期（10～12月）から21年第3四半期まで5期連続で前年同期を上回った。県内上場企業においても業績は回復傾向にある。

②雇用環境の改善

2021年度における県内の有効求人倍率（季節調整値）は、コロナ前の2019年度の値には及ばないものの、年度を通して1.00倍を上回った。足元では上昇傾向にあり、雇用環境は改善しつつある。

③生産活動の低迷

2022年2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は87.7と10カ月連続で100.0を割り込んだ。原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱などを要因に、生産活動の低迷が続いている。

3. ボーナス支給総額 4,573億円（前年実績額比 +1.4%）

表2 静岡県の夏のボーナス支給総額推移（民間企業推計）

	2020年	2021年	2022年
支給総額（億円）	4,479	4,508	4,573
対前年比伸び率（%）	△ 2.2	+ 0.6	+ 1.4
ボーナス支給対象者数（万人）	約118.9	約119.5	約120.2
対前年比伸び率（%）	△ 2.8	+ 0.5	+ 0.6

推計値の算出方法

本推計は、アンケートやヒアリングなどの実態調査に基づくものではなく、ボーナスが支給される静岡県内のすべての民間労働者（※約120.2万人、支給されない者は含まず）を対象として、ボーナス支給額と相関が高いと考えられる統計指標（鉱工業生産指数、労働生産性指数、有効求人倍率、名目賃金指数、消費者物価指数など）を参考に、統計的手法に基づいて算出した。したがって、実際の主要企業平均支給額（静岡県夏季一時金要求・妥結速報）とは異なる。

また、毎年、最新の統計指標に基づいて、直近3年間分を再推計しているため、2020年および2021年の推計値は、過去に公表した値とは異なる。

※毎月勤労統計調査等をもとに推計

※本件のお問い合わせ先 担当（後藤 裕大）